

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル:

Association of egg protein levels in dust with allergy status and related factors

和文タイトル:

ハウスダスト中の鶏卵タンパク量に関する要因

ユニットセンター(UC)等名: 甲信ユニットセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Pediatrics International

年: 2022 DOI:10.1111/ped.15372

筆頭著者名: 小島 令嗣

所属 UC 名: 甲信ユニットセンター

目的:

本研究では、ハウスダスト中の鶏卵タンパク量に関する要因を明らかにすることを目的とした。

方法:

甲信ユニットセンター(山梨県内)の6歳時詳細調査に参加した子ども159名を対象とした。追加調査にて自宅のハウスダストを収集した。ハウスダスト中の鶏卵タンパク量はELISA法にて測定した。ハウスダスト中の鶏卵タンパク量に関する要因を線形回帰モデルにて解析した。

結果:

ハウスダスト中の鶏卵タンパク量に関する要因は母親の鶏卵摂取頻度と同居人数であった。6歳時の卵アレルギーの有無との関連はみられなかった。

考察(研究の限界を含める):

本研究結果から、ハウスダスト中の鶏卵タンパク量に関する要因は母親の鶏卵摂取頻度と同居人数であることが示唆された。6歳時の卵アレルギーの有無とは関連はみられなかったが、因果の逆転が生じている可能性がある。またハウスダストの収集を保護者に依頼していること等が本研究の限界である。

結論:

ハウスダスト中の鶏卵タンパク量に関する要因は母親の鶏卵摂取頻度と同居人数であった。6歳時の卵アレルギーの有無との関連はみられなかった。